

“黒子企業”が42年目の初挑戦

提供価値を可視化する公式キャラクター誕生

金属鋼板向け表面保護フィルム分野で高いシェアを持つ株式会社城山（愛知県名古屋市名東区、代表：加藤隆介）は、2026年3月、会社案内の刷新にあわせ、城山初となる公式キャラクター「キラリ」「ペタペタ」を制定しました。創業以来、ものづくりを支える“裏方”として事業を続けてきた城山が、キャラクターという形で自社の役割を表現するのは今回が初めての試みです。



刷新した会社案内



公式キャラクターの「キラリ」と「ペタペタ」

■ キャラクター概要



キラリ

ものづくりの現場にある、目立たないが確かに存在する“輝き”を表した忍者モチーフのキャラクターです。



ペタペタ

表面保護フィルムの「貼る」「守る」という役割を、親しみやすい姿で表現したフィルムモチーフのキャラクターです。

デザインおよび名称は社内公募により決定しました。

■ 消える商材が守る「一瞬の感動」

城山が扱う表面保護フィルムは、金属加工製品の表面を傷から守るために使用される副資材で製品が完成する直前や施工の最後の工程で剥がされるため、最終的に消えてしまう存在です。しかしこのフィルムがあるからこそ、製品は傷つくことなく、美しい状態で世に出ます。作り手の想いを守り、消費者が手に取った瞬間の「一瞬の感動」を守っています。

城山の取引先は全国1400社以上。建材、家電、自動車部品など、私たちの身の回りにある多くの製品の製造現場で使用されています。

表面保護フィルムは製品の主役ではありません。しかしものづくりを裏側から支える“縁の下の力持ち”の役割を担っています。近年、城山の社内ではこの仕事の在り方を「黒子」という言葉で表すようになりました。

「自分たちは主役ではない。しかし確実に、ものづくりを守っている。」

この考え方が、静かに任務を遂行する忍者の姿と重なり、今回のキャラクター誕生へとつながりました。

■ なぜ今、キャラクターなのか

城山はこれまで、製品やサービスの説明を中心に情報発信を行ってきました。しかし社内ではここ数年、ある議論が続いていました。

「私たちは何をしている会社なのか。」「この仕事の価値を、どう伝えればよいのか。」

黒子の仕事は、言葉だけでは伝わりにくい。そこで浮かび上がったのが、「形で伝える」という方法でした。理念や文章で説明するだけでなく、自分たちが提供できる価値をキャラクターという形で表現してみる。

この発想から、公式キャラクターの制定が決まりました。

■ 社内での議論

キャラクター導入については、社内で慎重な意見もありました。

「営業活動で活かせる場面が想像できない」「企業としての緊張感が損なわれるのではないか」

そうした声が出る中、共有されたのは次の言葉でした。

「やってみよう。やったことのないことをやってみることで、初めて見えるものがある。」

キャラクターは完成形ではなく、試みです。新しい表現方法を取り入れることで、自社の役割や価値をより分かりやすく伝えられるかを探っていきます。また社員や地域の子どもたちにも親しまれる存在として、時間をかけて育てていくことを目指しています。

■ 今後の展開

公式キャラクターは会社案内や営業資料、採用ツールのほか、地域イベントやCSR活動での活用も検討しています。城山では、地域の学校や幼稚園へ寄贈する交通安全教育用のデモ信号機を自主製作しており、こちらにもキャラクターのステッカーを貼付します。

キャラクターを通じて、城山がものづくりの裏側で担う役割をより分かりやすく社会へ伝えていきます。

■ 会社概要

社名	株式会社城山
創業	1983年
社員数	60名
事業内容	表面保護フィルムおよび各種粘着製品の卸売販売（金属鋼板向け業界トップクラスのシェア／取引先1,400社超）
所在地	愛知県名古屋市名東区豊が丘61
代表者	代表取締役 加藤隆介

■ 本件に関するお問い合わせ

会社名	株式会社城山
部署	経営企画室
担当者	佐口謙介
TEL	052-779-3301
携帯	080-6984-5186
Mail	saguchi@cc-shiroyama.co.jp